

子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす
全教メールニュース

第16号 2009.10.27

毎月2回、39年間積み重ねてきた京教組女性部の6・9行動
今月も清水寺で核廃絶を訴えています

10月の6・9行動、京都の清水寺前で京教組女性部の組合員は、「核兵器をなくす署名を」「被爆者救援の募金に協力を」と呼びかけ、420筆の署名と1260円の募金を集めました。この14年で集めた署名は5万3千筆を超えています。

参加者は、専従者のほかに退職された方も来てくれて2日間で15人。塀には、「“教え子を再び戦場に送らない”核兵器のない世界を」の横断幕と外国人向けの英文の横断幕を貼り出し、署名板の前に張本勲さんらのポスターを下げ、募金箱を置いて、観光客に呼びかけます。「核兵器のない世界は実現できる」と書いたピラも工夫し、修学旅行生むけには「知っていますか、1945年のできごとを」「真実を見ぬき平和の守り手に」と呼びかけるピラを配っています。外国人向けには、英語ばかりではなく、ハングルと中国語のものも用意しています。署名板を持って訴えた女性部書記長の堀信子さんは、「目が合えば協力してくれます。署名をしてくれた人には折り鶴を渡しています。核廃絶は難しいと思ったこともありましたが、オバマ演説と原爆症認定集団訴訟の勝利で運動に弾みがついています」と、確信を深めています。



「広い視野で考え足元から行動を」と6・9行動1000回記念集を持つ堀信子女性部書記長

「核兵器のない世界」は追求されるだけでなく達成されなければならない

原水協の大使館訪問に参加し、核廃絶の努力を要請し大使・公使と懇談

原水協は国連軍縮週間(10/24~30)に合わせ、各国大使館への要請行動を展開し、核兵器数の削減や核拡散の防止に目標をとどめる動きを批判し、来年のNPT会議で核廃絶を目標にすえた国際交渉を開始することを訴えました。全教から参加した磯崎書記次長は、「広島・長崎の被爆の真相と世界の核兵器保有の現状を子どもたちに教えてきたが、核抑止論に立って核開発を競い合った80年代に比べ、今は核のない世界を現実の課題として希望を語れる時代になった。子どもたちに核兵器のない平和な世界を引き継ぐために力を発揮していただきたい」と要請しました。

応対した大使からは、「皆さんの話が聞けてよかった」「核のない世界は追求されるだけでなく達成されなければならない」など積極的な回答がありました。



ノルウェー大使に要請する磯崎書記次長 10/22